

キャタラーは排ガス浄化触媒を中心に、 地球環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献しています。



究極のエコカーFCV(燃料電池自動車) 最先端の電極触媒

近未来の持続可能なクルマ社会のためにトヨタ自動車と共同開発した電極触媒にも
私たちが培ってきた排ガス触媒と活性炭の技術が息づいています。

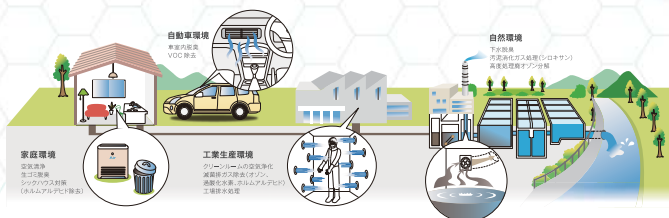
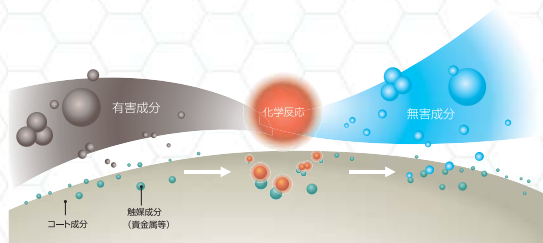
事業運営や日々の活動にともなう 環境へのインパクトを最小限に

キャタラーで働く私たちは、誰もが恩恵を得ている自然を、そして地球環境を守っていくために、製
品を通じた貢献はもちろん、一人ひとりの活動、すべての部門の運営においても、「人と環境のベ
ストなあり方」を考え続け、実践していくことが求められています。なぜなら、それが持続可能な社会
と地球環境の実現に役立つからです。

空気よりもきれいに — その想いから生まれた触媒

世界中の人々の暮らしに欠かせない存在である自動車や二輪車、水上を行き交う船やPWCなどの乗り物、
ビルの自家発電や地域の暖房・給湯システム、一次産業・レジャーなどのシーンで活躍する内燃機関を使っ
た製品。そこで排出される有害な一酸化炭素、炭化水素・窒素酸化物などを無害な二酸化炭素や水など
に変えてしまうのが、物質に「触」れることによって化学反応の「媒(なかたち)」をする触媒。

私たちの製品は、持続可能な社会の実現、そして地球にとって、なくてはならない役割を担っています。



生活環境を快適に — 活躍の場が広がる環境ケミカル製品

私たちの生活空間—家屋やクルマ—には、快適な暮らしを阻害するさまざまな臭い、シックハウス症候
群の原因となるホルムアルデヒドなど、化学の力による解決が望まれている課題が山積しています。産業
分野でも、クリーンルームの空気浄化、滅菌、オゾン分解、排水処理など、競争力を保ちながら持続可
能な地球環境の実現にも貢献することがCSR(企業の社会的責任)として問われるようになってい
ます。私たちは自動車分野で培った触媒技術と活性炭の吸着技術を活かし、従来の活性炭では解決できな
かった分野の環境浄化に貢献しています。

取引先

触媒で
地球とクルマを
つなぐ

株主

地域社会・
グローバル
社会

キャタラーで
働く私たち

キャタラーは、環境保全と経済活動の両立は
「目標」ではなく「社会的責任」と考えます。

生産、設計開発、調達、事務、すべての分野で
環境保全、エネルギーと資源の有効利用に
取り組みます。

環境方針に基づき、自主的に目標を定め、
未然防止と継続的な改善を続けます。

すべての環境関係の法規、法令、条例、協定、
客先との合意事項の遵守は「基本」と考えます。

地域のコミュニティ、公共団体、
社会の幅広い層との連携・協力を忘れません。

学び、知ることへの会社からのサポートは
部門・組織や年齢性別を問わず、欠かしません。

私たちの環境方針では、「豊かな21世紀への貢献」「環境技術の追求」「自主的な取り組み」
「社会との連携・協力」「環境教育の実施」の5つの項目を掲げています。

GLOBAL
グローバル展開する
キャタラー

1967年 俊井で創業

1971年 掛川に移転

1989年 米国に進出

1996年 タイに進出

1998年 テロイトに事務所設立

2001年 欧州に事務所設立
南アフリカと中国に進出

2011年 インドネシアに進出

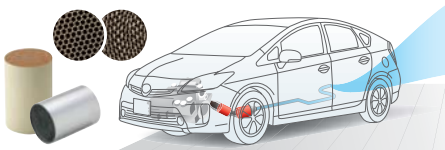
2014年 インドに進出

環境に貢献する 排ガス浄化触媒

キャタラーの主要事業であり、半世紀にわたって技術を培ってきた触媒製品は、社会のさまざまな場面で活躍する乗り物などに使われています。

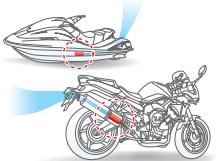
世界の自動車メーカーから 高く評価され信頼されている自動車触媒

世界初の NOx 吸蔵還元型 3way 触媒(三元触媒)を開発するなど、キャタラーの技術は世界トップレベルにあります。



二輪車・汎用触媒

自動車と同じく世界中で人々の生活を支えている二輪車やマリナー製品にもキャタラーの触媒は広く使われています。



その他の触媒製品

ガスエンジンコージェネレーション用各種触媒コンバーター

都市部のオフィスビル、ホテル、工場などで広く導入されているコージェネシステムでもキャタラーの触媒が活躍しています。



身近な生活で役立つ 環境ケミカル製品

従来の活性炭では解決できなかった分野の環境浄化で活躍するタミル吸着剤は、産業から生活空間までさまざまな分野に活用されています。

従来の活性炭では解決できなかった 新たな分野を切り拓く環境ケミカル製品

一般家庭の居住空間、病院や美術館などの施設、工場などでホルムアルデヒドの分解除去や脱臭を担う製品に使われています。

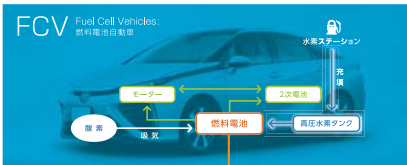


持続可能な社会を 拓くイノベーション

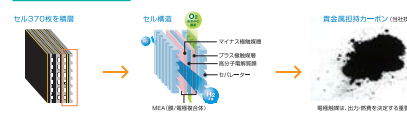
キャタラーは排ガス浄化触媒で培ってきた技術を活かし、燃料電池用電極触媒やキャパタン用炭素材料などの先進技術分野にも力を注いでいます。

究極のエコカーのための電極触媒

最先端の電極触媒をトヨタ自動車と共同開発し、2015年に発売された燃料電池車 MIRAI(ミライ)に採用されています。



燃料電池本体(スタック)



次世代の技術開発で持続可能な社会の実現に貢献します。

トヨタ自動車が2014年に世界初の量産化に成功したFCVに燃料電池の電極触媒の開発で関わったこと、長年培ってきた当社の技術が飛躍的な性能向上と大規模なコスト低減に活かされたことを嬉しく思っています。課題を一つ一つ克服していく地道な作業の積み重ねでしたが、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年には普及が加速していることを励みに、今後も電極触媒のトップランナーであり続けたいと思っています。

持続可能な社会に「なくてはならない」役割を担う

CSR(企業の社会的責任)という言葉、認識は、今では企業にとって自明のものとなりました。事業の存続、その活動が持続可能な社会の実現に役立つこと、それがキャタラーという企業の責任であり、私たちに求められている大切な役割です。



7つの原則

1. 説明責任
2. 透明性の確保
3. 倫理的な行動
4. ステークホルダーの利害の尊重
5. 法の支配の尊重
6. 国際行動規範の尊重
7. 人権の尊重

キャタラーのCSR方針(抜粋)

- ◆ 社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に率先して貢献
- ◆ 国内外、国際的な法令、並びにそれらの精神を遵守
- ◆ ステークホルダーとの健全な関係の維持・発展

キャタラーは取引先もこのCSR方針の趣旨を支持し、それに基づいて行動することを期待します。

製品・事業を通じて
持続可能な社会の
実現に貢献し続けること

日々の事業活動で
地域社会に信頼される
企業であり続けること

コンプライアンスは (法令遵守) 企業の基本



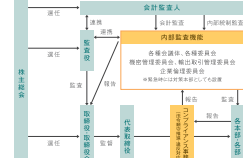
法令は社会的な合意のもとに定められたルール。企業という組織でも、そこで働く個人としても、それに則って活動することが「基本」です。

行動倫理ガイドを活用しましょう



何を守り、どのように組織を保つのか

コンプライアンスは法令遵守と言い換えられますが、守るものは法律だけではなく、キャタラーの規則、社会生活を送るうえで共有されているモラルも対象となります。また、企業組織としてそれらを確実に実行するためには、その体制づくりもコンプライアンスが欠かせません。



事業活動においても 環境への負荷を低減

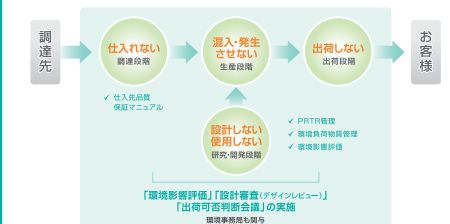
工場での生産、事務所の運営といった事業活動には、必ず環境に対する負荷を伴います。キャタラーは法的な規制の遵守のみならず、自主的な目標を設定して負荷の低減に努めています。

環境の保全に役立つ製品の メーカーだからこそデキルこと。 しなくてはならないこと。

私たちの社会に欠かせない自動車を支える触媒や、そこで培った技術を活かした環境ケミカル製品で社会に貢献できる会社であることに誇りを感じています。その一方で、そうした会社であるからこそ、他の会社よりも環境保全につながる日々の取り組みができていて当然と見られているのではないかと考えています。環境対応に終わりはありません。一人一人が身近な環境に対する意識を高め、着実に仕事に取り組んでいきます。

徳田 隆幸 Takahisa Tokuda

環境負荷の低減(CO₂排出量・有害物質・廃棄物・資源やエネルギー使用の削減・排水の浄化処理など)における基本的な考え方と取り組み



環境基本方針

1. 豊かな21世紀への貢献
先進的な環境製品を開発・提供と、企業活動を通じてのゼロエミッションを継続します。電力、LPGの効率的な活用と原材料の有効利用で環境負荷を低減します。
2. 環境技術の追求
環境と経済の両立をテーマに、製品開発・生産活動の両面で、あらゆる可能性を追求します。
3. 自主的な取り組み
環境方針に基づき、自主的な環境目的及び目標を定め、全員参加で推進します。
4. 社会との連携・協力
企業活動に関わる全ての環境関係法規、法令、条例、協定及び客先の合意事項を遵守します。環境に関わる社会の幅広い層との連携・協力関係を推進します。
5. 環境教育の実施
これらの活動をより効果的に実行し成果を上げるために、当社で働く全ての人に対して必要な教育を明確にし、計画的に実施します。

行動倫理・公益通報についての相談

コンプライアンスに関する重大な問題は、ひびくで個人でいても解決には至りません。専門家のサポートを受けることが重要です。お問い合わせは公益通報窓口です。お問い合わせは公益通報窓口です。

社内の相談窓口

〈 総務部 〉 TEL 0537-72-7864
Email: kasei@catalytic.co.jp

〈 労働組合 〉 TEL 0537-72-7198
Email: kumai@catalytic.co.jp

社外の相談窓口

〈 弁護士 〉 錦陵法律事務所 松川 正紀 氏
〒530-0192 大阪市東淀川区東中島5-1-1
TEL/FAX 0120-755-532

〈 24時間連絡ヘルプライン 〉 TEL 0120-677-422

「公益通報者保護制度」
公益通報者保護法に基づき、公益通報者に対する保護が図られています。
公益通報者に対する保護が図られています。

2016年3月発行 / 発行元：株式会社キャタラー

地域の一員として 貢献する日々の活動



企業も個人と同じく地域の一員です。キャタラーは地域コミュニティとの連携をとりながら、従業員のボランティア活動へのサポートなど、さまざまな活動に取り組んでいます。

活動の事例

掛川市への協力

- ・福祉車両の寄贈
- ・掛川市立大東図書館への寄贈
- ・津波避難施設の使用協定の締結
- ・地震津波対策への寄付金



会社周辺での活動

- ・前浜漁港の清掃
- ・海岸防災林の再生(植樹ボランティア)
- ・アダプトロードプログラム(国道 150 号沿い清掃ボランティア)



その他の活動

- ・掛川・新英マリンへの特別協賛(スポンサーとして参加)
- ・国内外の地震災害被災地への義捐金
- ・中高生のインターンシップ受け入れ
- ・従業員の自主的な活動サポート



企業も個人も地域に貢献する 会社であり続けます。

キャタラーは創業以来、静岡を拠点にきた会社ですが、自治体やさまざまな団体、地域社会との良好な関係のうちに、私たちの会社、事業活動は成り立っているのだと思います。環境保全に貢献する企業であるからこそ、地域のボランティア活動に従業員が積極的に参加する社風がさらに醸成されていくよう、自分の役割を果たしたいです。キャタラーの製品だけでなく、一人一人の環境を汚さない気持ちが必要不可欠だと思っています。

徳田 隆幸 Takahisa Tokuda

知っておきたい 私たちのCSR

— キャタラーの社会的責任 —



触媒で地球とクルマをつなぐ

